

第3回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会開催結果概要

2023（令和5）年2月22日（水）に開催された、第3回郡山市制施行100周年記念事業プロモーション委員会の開催結果についてお知らせします。

○議事

次の項目について事務局から説明し、委員の皆様からは様々な意見をいただきました。

- (1) キャッチフレーズについて
- (2) ロゴマークについて
- (3) その他

【主な意見とその後の対応】

「キャッチフレーズについて」

- ・ 開拓の想いをつなぐ 100年都市こおりやま
100周年なので100年目の年だというのは入れておいた方がいいのかなという思いと、明治以降の安積開拓からこの郡山があって、最初の「開拓の想い」を入れ、未来への橋渡しという意味で安積開拓の想いをつなぐという意味で考えた
- ・ 100周年なので100年が入るといいなと思う。「次の100年へ」と入るのはピンと来なかったもので、後ろに100年都市郡山という方がスムーズかなと思う。このフレーズは素敵だなと思う。どこかに「100年」と入れればいいなと思っていた
- ・ 開拓の想いを未来へつなぐ 100年都市こおりやま
想いをつなぐだけでなく100年都市というのは今までの郡山であって、これからの郡山という意味では「つなぐ」の前に「未来へ」が入るとまとまりが良いと感じる
- ・ 開拓の想いと 未来を奏でる こおりやま
100年都市を入れるか入れないか、100周年記念の事業を標榜するときと一緒に使うと少しくどいかなという気がする。奏でるという言葉は非常に音楽的であり、未来を感じさせるような「協業」とか「協奏」という言葉がある一方で音楽を想起するような単語なので非常に良いかなと思う
- ・ ひらけ 未来へ こおりやま
「開拓」という言葉が重たいかなと感じた。「ひらく」「ひらけ」ということによって開拓を包含するし、未来へのメッセージも伝えられ、短いが強さが出るかなと思う。100年都市を入れるかどうかは、ロゴの中でもかなり「100」というのは際立ってデザインされているように思うので、バランスもある。「ひらけ」はひらがなのイメージである
- ・ キャッチフレーズとロゴマークは基本セットで使うと思うので、ロゴマークと一緒に使うと思うので、キャッチフレーズだけの話をするのではなく、セットで考えるべき
- ・ ロゴマークのデザインが細かいのであれば、キャッチフレーズはシンプルなほうが良い
- ・ 「100年」はロゴマークで取り入れられたら、キャッチフレーズでは「100年」はカットしてよい

・ 開拓心 未来へ受け継ぐ こおりやま

「開拓者精神」や「楽都」が郡山を表すことになると思うので、「開拓」という言葉を入れ、また「開拓の想い」の字数を変えるために「開拓心」としてみた

「ロゴマークについて」

- ・ がくとくんとおんぷちゃんが入っているロゴマークが果たして良いのかなと思う
- ・ 色覚異常の方がいるので、誰もが認識できるロゴマークを選んだ方がよい
- ・ 次につながるバトンの意味で、ロゴマークに公会堂のモチーフが入っていた方がよい
- ・ 総合的にトップの票を取っているものが良い

「キャッチフレーズについて」

- ・ ロゴマークに100が入っているので、100年は除いてよい
- ・ こおりやまは、ひらがなのほうがお子さんも読みやすくで良い
- ・ ひらけ 未来へ こおりやま
ロゴが非常に複雑というか賑やかなので、お子さんや外国の方にもシンプルなほうが伝わりやすかなと思う
- ・ ロゴマークのほうが過去と現在の郡山の姿を象徴すると思うので、この案はシンプルで座りがよい

➡これまでの意見を踏まえ、ロゴマーク、キャッチフレーズが決定しました。

➡[郡山市制施行100周年記念ロゴマークが決定しました！](#)

➡[郡山市制施行100周年記念キャッチフレーズ・ロゴマークが決定](#)